

報道関係者各位  
プレスリリース

2023年5月18日  
株式会社なるこみらい  
代表取締役 菅野永

アフターコロナを見据えて地域一丸となり取り組む鳴子温泉郷に、  
地元食材と非日常空間を楽しめる「cafe gutto」が  
5月20日（土）9時からグランドオープン

株式会社なるこみらい（本店：宮城県大崎市鳴子温泉、代表取締役 菅野永）は、宮城県大崎市の鳴子温泉郷において、地元食材と非日常空間を楽しめる「cafe gutto」をオープンします。5月20日（土）9時から、グランドオープンとなります。

【取り組みのポイント】

●地元食材を活用したメニュー  
例)

鳴子温泉郷でしか味わえない幻のお米「ゆきむすび」を活用した米粉食パン  
大崎市のブランド豚「伊達ざくらポーク」のローストポーク



●非日常を味わうことができる空間  
木を使うことで温かいながら洗練された空間デザイン



本件の問い合わせ先：050-3171-7099、[info-naruko@mkto.org](mailto:info-naruko@mkto.org)（取締役 島）

2023年5月18日  
株式会社なるこみらい  
代表取締役 菅野永

●鳴子温泉郷の「グット」来たものを店内で紹介  
お客様が次に行きたい場所を探ることができる様に、こけし・温泉・食・自然のテーマで鳴子温泉郷を紹介する冊子を設置しています。（一部準備中）



（こけしの紹介冊子）

### 【取り組みの意義・動機】

鳴子温泉郷はコロナ前から観光客の減少に悩まされています。（平成19年からコロナ前の令和元年で宿泊観光客数が2/3に減少。コロナ禍の令和3年においては、令和元年の更に半数近くまで減少。）

我々の調査では、原因の一つは温泉以外のコンテンツ（※）の認知や数が不足していることだと分かりました。 ※コンテンツ：旅館の宿泊前後に楽しめる飲食店、体験等

株式会社なるこみらいでは、「温泉を楽しむ街から温泉も楽しむ街へ」をコンセプトに、既存コンテンツの発信及び、自社でのコンテンツの新規開発、弊社とは別にコンテンツを開発する方の発掘・支援を行っています。

その中でcafe guttoでは、飲食店として地元食材や非日常空間を楽しむことができる場の提供はもちろん、ふらっとカフェにいらっしゃったお客様に鳴子温泉郷で我々自身がグット来たコンテンツの紹介を行います。

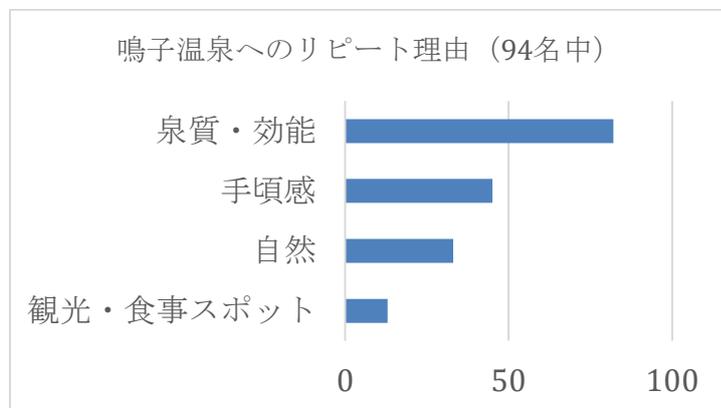
### 【会社・店舗情報】

グランドオープン	2023年5月20日9時から
営業時間、定休日	9時～16時、火・水定休
会社名・代表者	株式会社なるこみらい 代表取締役 菅野永
役員	取締役 遊佐翔（東多賀の湯 代表） 取締役 狩野裕二郎（旅館すがわら 代表） 取締役 島征史
店名	cafe gutto（カフェグット）
店舗住所	〒989-6823 宮城県大崎市鳴子温泉湯元27-2-2
アクセス	JR鳴子温泉駅から徒歩3分
インスタグラム	<a href="https://instagram.com/cafe_gutto_naruko">https://instagram.com/cafe_gutto_naruko</a>

2023年5月18日  
株式会社なるこみらい  
代表取締役 菅野永

### 【詳細データ（ご参考）】

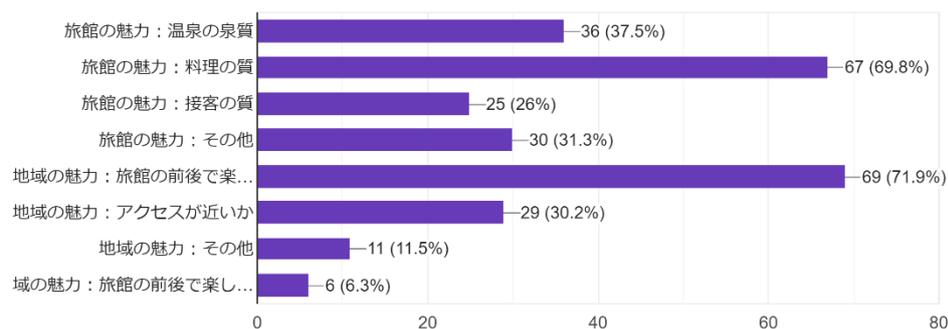
鳴子温泉郷をリピートして利用している方々を対象に弊社が行なったアンケートでは、泉質が評価されリピートされている一方で観光や食事に対する評価が低いことがわかりました。



一方で、仙台在住の20代～40代96名にアンケートを取ったところ、「旅館の前後で楽しめる場所があるか」、「旅館で美味しい料理を食べられるか」という基準で温泉地を選んでいる方々が7割近くに上り、「温泉の泉質」で選んでいる方は4割に満たないということがわかりました。

どの温泉地に旅行に行くか行き先を選ぶ時にどの...を重視するかを教えてください（複数回答可能）

96件の回答



※一部項目は見切れているのでご了承ください

つまり、「泉質が評価されている」「温泉地としての認知度がある」という強みがある一方で、「近隣の観光施設」「食事」の数が足りていなかったり、認知が足りていなかったりすることがわかりました。

そこで我々は、まさにコンテンツを増やすことと既にあるぐっと来たものを紹介することを組み合わせ、温泉を楽しむ街から温泉も楽しむ街を目指しています。